



げんきな子 がんばる子 やさしい子

# 園だより

9月号

北区立さくらだこども園  
園長 西澤 尚子

## 引き継ぐ

今年の夏は、猛暑、自然災害のニュースを幾度となく耳にしました。災害に合われた方に心よりお見舞い申し上げます。また、戦後80年ということで日本に関わる戦争を取り上げた番組や記事も増えていたように思います。自然の猛威は止められませんが災害にしないための知恵や対策は積み重ねられ、安全を守るための方法が考えられていきます。戦争の悲惨さを伝えることは次代に戦争をしたくないと思う人を育てることにつながっていくと思います。伝え引き継いでいくことの大切さを感じます。

さくらだこども園では、幼稚園卒の子どもたちが夏季休業日となる期間は4、5歳児が縦割りで生活をしています。初めのうちはいつもとは違う保育室、先生、友達との生活に戸惑う様子も見られましたが、1か月経った8月後半には学年を超えた関りを当たり前と感じて過ごす様子が見られます。4歳児は5歳児の遊びや生活の様子を見て、新しい遊び、当番の仕事を知り、自分でしたいという気持ちが膨らんでいきます。見よう見まねでしているうちに、同じ遊び方ではなくても自分の遊びとして楽しめるようになっていきます。

朝のホールで先生を相手に将棋をしていた4歳児が、先生の「難しいのによく知っているね」との言葉に「年長さんに教えてもらったもの」と返していました。面白そうだと思って見ている4歳児に5歳児は、「教えてあげようか」と伝えたり、仲間として受け入れて一緒に遊んだりして過ごした時間があつたのでしょうか。知りたいと思い伝える言動があつて、物事が引き継がれていくのだと感じました。

園の遊びも、家庭それぞれの文化も、社会的な出来事も、何を引き継ぐのか、または何が引き継がれているのかは双方の思いによるのだとも思いました。

猛暑でなかなか夏の自然にふれる機会はもちにくかったのではないかと思います。ご家庭それぞれに「夏の体験」があつたと思います。心に残していったほしい体験は、何度でも話題にし、楽しさ、うれしさ、驚き、発見の喜びが心の中に引き継がれていくといいですね。

9月からもさくらだこども園では、子どもたちが大きくなっても心に刻んでおきたい、楽しさや発見の面白さが体験できるようにしていきたいと思います。

### —今月の指導のめあて—

- 〈4歳児〉
  - ・保育者や友達と久しぶりに会うことを喜び、一緒に過ごす中でこども園や学級での生活の仕方を思い出す。
  - ・教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かしたり、自分のしたいことを繰り返し楽しんだりする。
  - ・園庭の虫や自然にふれ、季節の変化を感じたり、製作遊びや運動遊びに取り入れて遊ぶことを楽しんだりする。
- 〈5歳児〉
  - ・共通の目的に向かって友達と一緒に取り組む中で、自分の力を発揮しようとする。
  - ・思い切り体を動かすことや友達と競い合うこと楽しみ、勝つうれしさや負ける悔しさを感じる。
  - ・秋の身近な虫や自然に興味・関心を持ち、よく見て調べたり、遊びに取り入れたたりすることを楽しむ。

### <お願い>

園児の安全のため、保護者名札は必ず着用してください。名札の着用は、登降園時を含めて、来園時から門を出る時までお願いします。

名札が見えない場合、声を掛けさせていただくことがあります。